

# 海部地区「拡大家庭教育推進協議会」

## I 概要

- 1 日時 令和元年11月20日（水）午後2時00分～午後4時30分
- 2 会場 弥富市総合社会教育センター
- 3 参加者
  - ・協議会委員 17名
  - ・協議会以外の参加者 32名（子育て関係団体7名、小中学校関係者10名、行政関係者15名） 合計49名

## II 日程・内容

- 1 開会行事・表彰式 午後2時00分～午後2時20分



令和元年度優良家庭教育推進組織等表彰は、地域に伝わる無形文化遺産「佐古木神楽」の承継を通して、家庭における親子のつながりを深めている「佐古木文化財保存会」が受賞された。

- 2 事例発表 午後2時20分～午後2時40分



佐古木文化財保存会が、これまでの活動の様子をプレゼンテーションにて発表し、「すべては子供たちのために！」をスローガンとして、様々な活動を行っている様子が伝えられた。伝統芸能の継承活動を通じて「親子三世代のつながり」をイメージした神楽太鼓ばちづくりを行った様子や、特別養護老人ホームへの交流訪問や地元企業イベント出演を通して、地域と家庭とのつながりが深まった様子が紹介された。

### 3 グループ協議、情報交換会 午後2時50分～午後4時25分

<テーマ>

「参加したくなるような親の学び場づくり」  
「地域における家庭教育支援活動」



#### 1 グループ

母親ができる防災について学ぶ場を設け、子育て中の母親だからこそ知ってほしい防災情報を伝えるようにしている。興味がない人にも伝えることが大切だと考え、子の健診を行っている会場に出向き、時間をいただいて活動をした。



#### 2 グループ

子の4か月健診でブックスタート事業をしている。その際、本を渡すだけでなく、読み聞かせ会への勧誘を行ったり、健診会場でわらべ歌を楽しんでもらう場を設けたりすることにより、親同士の交流を深めるようにしている。



#### 3 グループ

学びの場が、母親の息抜きの場になっていることも大切であり、横のつながりを持つことが、母親が互いに学ぶきっかけとなっている。SNS等で広報を行っているが、チラシの配布等、アナログな物の方が効果を感じることもある。



#### 4 グループ

トイレトレーニングをテーマに交流会を設けた。すでに経験された保護者とこれからの保護者が同一グループになるようにグループ分けをすることにより、大変有意義な学びの場となった。

### 4 閉会行事

午後4時25分～午後4時30分

## Ⅲ 課題や今後の取組について

事例発表は、事後アンケートによると、「親も学ぶ姿を子に見せることが、子の学ぶ力を育てることにつながる事が分かった」等の意見があり、それぞれの団体に活動の姿勢を示すことができたと言える。

グループによる情報交換は、「それぞれの地域で様々な形で子育て支援を行っていることを知ることができて勉強になった」等、各市町村の枠を超えた有意義な情報の共有ができた。次年度に向けて、テーマや参加者について今後、検討し、市町村が対応しやすいように努めていく。